

『新たな魚種を加工原料として活用したい』

海況変化を見据えた 新たな水産資源の持続的活用推進事業

水揚量が近年増加しているものの加工原料としての利用率の低い「暖水性魚種」や、加工原料として認知されていない「低・未利用魚種」、加工工程上やむを得ず残渣として排出されている「未利用部位」の加工原料化を目指す企業に対し、技術的な支援を行います。

対象となる方

水産加工業者、6次産業化を目指す漁業者・団体など

支援内容

- ・「暖水性魚種」や「低・未利用魚種」等の加工原料化について、県が実施する試験研究の成果を提供します。
- ・県が開発した加工技術やレシピ等は、県内水産加工業者へ提供して技術移転を図ります。
- ・新たな加工原料となり得る魚種等の情報を収集・提供します。
- ・新たな加工原料の利用に向けた各種相談に対応します。
- ・一般消費者に対しても県 HP や水産加工開発チームのInstagramなどを活用して情報を発信し、暖水性魚種や低・未利用魚の知名度向上を図ります。

お問い合わせ

下記お問い合わせ先にご連絡ください。

【お問い合わせ先】

宮城県水産林政部水産技術総合センター

水産加工開発チーム

電話：0225-93-6703